

2020年3月31日

三重県知事 鈴木 英敬 様

新型コロナウイルス感染症に対する対応につきまして、新政みえとして地域の様々な声を聞き取り、下記の通り緊急提言として取りまとめました。県民の声をしっかりと受け止めて対応されるよう申し入れます。

新政みえ代表 稲垣 昭義

## 新型コロナウイルス感染症に関する支援についての緊急提言

### < 医療提供体制等 >

- 指定医療機関において陽性者を受け入れた場合、医療資機材の確保に係る支援に加え、受け入れに伴う他の患者の転棟等にかかる経費についても支援すること。
- 感染が拡大した場合の無症状者や軽症者への措置について検討するとともに、受け入れのための施設の確保に取り組むこと。
- 地域での集団感染事例が発生した場合、当該地域内医療機関が外来診療や救急外来を取りやめることが予想される。そのような状況下でも、2次医療圏やサブ医療圏ごとに医療体制が確保されるよう対策を講じること。
- 今後、感染者や疑わしき症例者が急増してきた場合に備えて、窓口と発熱外来等の感染初期の対応の拡充をすること。

### < 経済対策 >

- 県融資制度について
  - ・今後も円滑な制度運用となるよう努めること。
  - ・売上高の比較が前年同月にこだわることなく、実態に応じたものとする
- 資金需要が増大し繁忙となる政府系金融機関や信用保証協会などに対し、円滑な融資が行われるよう柔軟な体制をつくること。
- 正規、非正規に関わらず労働者の雇止め等に関する実態を把握するとともに、必要に応じて雇用対策等を講じること。
- 借入金の返済について、元金据え置き期間の延長など返済に係る負担の軽減を図ること。
- 外国からの帰国者について自宅待機を求められているが、休業補償制度創設を国に要望すること。
- 集団感染対策のために営業を自粛しているスポーツクラブ等の民間施設や事業者に対して補償等の対策を講じること。
- 保管・加工等ができない農水畜産品（牛豚・養殖魚・花き等）の消費策（キャンペーン等）を講じること。

< マスク・手指消毒液等について >

- 重症化しやすい高齢者や基礎疾患患者へ対応する高齢者施設や訪問サービス及び診療所等に関して実態を把握するとともに確かな支援を行うこと。
- 県内で未だ不足するマスクや手指消毒液等について、県民の不安を解消する対策を講じること。

< 生活支援 >

- 現在あるフードバンクのノウハウの活用について、県・市町・社協・民生委員児童委員・団体（NPO・子ども食堂ネットワーク等）で共有し、すべての困窮家庭に食料をはじめとする物資が行き渡るよう、県下全域に水平展開すること。
- 子ども食堂の再開のために必要な支援内容を把握するとともに、各市町及び、子ども食堂ネットワークと連携し早期に再開できるよう財政面を含めた支援をすること。

< 学校等における子どもの環境整備 >

- 学校再開にあたり、児童・生徒等にマスク着用が求められることから、学校や放課後児童クラブ、放課後児童デイサービス事業所及び保育所、幼稚園におけるマスクや手指消毒液の配備を早急に進めること。
- 学級・学校閉鎖時の昼食対応について、給食食材等の有効活用も視野に入れ、市町と連携して対策を講じること。
- 経済的困窮や様々な課題がより大きくなる家庭に対し、SSW、民生委員児童委員、学校等関係機関での情報共有を推進し、緊急アウトリーチ支援を行うこと。
- 児童養護施設における外出・外泊に関してガイドラインを設定すること。
- 児童養護施設など福祉施設と教育委員会の連携を推進し、学習保障に努めること。

< 外国人に対する支援 >

- 雇止め等、外国人を取り巻く労働環境について実態把握に努めること。  
MieCo の相談人員の増員と相談電話回線の増設を早急に行うこと。  
DV 増加の懸念があることから、市町と連携し、状況把握をすること。
- 移動制限により帰国が困難となる外国人技能実習生に関する課題について対策を講じるよう国に求めること。